

子どもの病気や事故について、その判断に迷った時の
よきバイブルとしてご活用ください。

最新刊

子どもをもつ親・保育者・教師に贈る

小児科医からの アドバイス

山田 真 著
(八王子中央診療所所長)

子どもが次のような症状の時、
保育者としてどう対処されていますか？

- ①子どもが熱を出した時、
登園できる目安は何度か。
- ②発疹が出たら
必ず園を休ませねばならないのか。
- ③「予防注射の当日や風邪をひいた時は、
風呂に入ってはいけない」は本当か。
- ④子どもの事故で
気をつけねばならないことは何か。

など、子どものからだと病気の基礎知識について、
困った時の対処法についてやさしく丁寧に解説します。

●主な内容

- 1章 うつる病気の基礎知識
ウイルスと細菌、免疫、うつる期間、
不顕性感染、再感染
- 2章 発疹の出る感染症
感染症の見分け方、突発性発疹と麻疹、風疹と水痘、手足口病と伝染性紅斑、溶連菌感染症
- 3章 その他の感染症
おたふくかぜ、マイコプラズマ肺炎、夏にはやる病気
- 4章 下痢、嘔吐、便秘
冬にはやる下痢と感染症、球形ウイルス感染症、その他の下痢、嘔吐、便秘
- 5章 アレルギーによる病気
アレルギーとは、気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎
- 6章 子どもの発熱
発熱について、微熱、ひきつけ
- 7章 病気の症状
子どものせき、はなみずとくしゃみ、川崎病、繰り返し病、成長痛、子どもの問題行動、
リンパ節のはれ
- 8章 質問に答える
おねしょ、下半身の話、子どもの事故、入浴について、予防接種、安静について、食事について、出席停止基準、小児科医の心得



四六判 224ページ 定価：本体1,200円＋税

キンダーブックの
フレール館